

ビール類の販売動向（2020年12月分）

首題の件につき、下記の通りご連絡申し上げます。  
 なお、本メモの表示数の算出根拠は「販売数量」で、「課税移出数量」ではありません。  
 また、表示ケース数は大びん換算です。  
 よろしくお取り計らいいただきますよう、お願い申し上げます。

## 記

- ビール・発泡酒・新ジャンル合計は前年比89%でした。
  - ・ ビールカテゴリー缶商品の実績が引き続き好調に推移し、全体の数字を牽引しました。
  - ・ 新型コロナウイルスの感染が再拡大した影響もあり、樽・びん商品が前年実績を下回りました。
- ビールカテゴリーは前年比84%でした。
  - ・ 酒税税率改正の影響もあり、引き続き黒ラベル単体缶商品およびエビス単体缶商品が前年実績を大幅に上回りました。
  - ・ 黒ラベル単体缶商品およびエビス単体缶商品は、1-12月累計でも前年実績を上回っています。
- 新ジャンルカテゴリーは前年比108%でした。
  - ・ 「サッポロ GOLD STAR」が好調に推移し、カテゴリーの実績を牽引しました。
  - ・ 1-12月累計でも「ツートップ戦略」が機能し、カテゴリー全体で前年実績を大幅に上回り、前年比119%でした。

## &lt;カテゴリー別販売状況&gt;

	12月単月		累計	
	前年比	前年比	前年比	前年比
ビール	84		82	
発泡酒	86		84	
新ジャンル	108		119	
ビール類 合計	89		92	

(単位:%)

## &lt;ブランド別販売状況&gt;

	12月単月		累計	
	本年函数	前年比	本年函数	前年比
黒ラベルブランド計	138	76	1,335	80
※黒ラベル単体	-	75	-	79
エビスブランド計	124	96	705	85
※エビス単体	-	94	-	87
麦とホップブランド計	58	70	747	79
※麦とホップ単体	-	71	-	80

(単位:万ケース、%)

以上